

第71号

令和元年9月6日



市議会だより

■ 6月定例会

6月19日～26日

発行・下田市議会 編集・議会だより編集委員会 〒415-8501 下田市東本郷1丁目5番18号 ☎0558(22)2220〈直通〉

下田ジュニアライフセービングプログラム (入田浜)

—未来のライフセーバーを育てよう—



6月定例会の主な議題

■ 下田市森林環境整備基金条例制定

■ 10月22日 天皇陛下即位奉祝記念事業開催

6月定例会総括

下田市議会6月定例会は4月の改選後初めての定例会で6月19日から6月26日までの8日間を会期として開催されました。

人事議案4件、条例議案6件、補正予算6件等合わせて18件の市長提出議案の審議が行われました。

条例議案では「下田市森林環境整備促進基金条例」が提案されました。この条例は森林整備の新たな財源として国が今年度に創設する「森林環境譲与税」が国から市町に配分され、市町が地域の実情に合った森林整備を進めます。これからの森林づくりと森林資源の適切な管理に反映させる為の整備に関わる基金条例です。また、その他5つの条例全てが原案可決となりました。

補正予算では天皇陛下即位奉祝記念事業として、天皇陛下のご即位を国内外に宣明する「即位礼正殿の儀」が行われる10月22日に皇室方のご静養の場として使用されている

須崎御用邸のある下田市として、祝賀行事を実施するもので、即位奉祝記念事業、式典等を下田市民文化会館にて行う費用が組み込まれました。



委員長 滝内久生
副委員長 渡邊照志
委員 鈴木 孝 矢田部邦夫
進士濱美 大川敏雄
沢登英信

条例関係

■議第45号 消費税及び地方

消費税率の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

10月1日に予定されている消費税及び地方消費税の税率改正に伴い料金等の改定をするもので、子育てに関連するものなど一部を除き、下田市有施設の使用料や下水道使用料など料金改定に関する18の条例を一括して一部改正する条例となっています。

「老人憩の家」や田牛の「青少年海の家」など現状利用されていない施設や休止している施設に係る改定は不要ではないか、差額を徴収する場合の事務・運用の複雑さが危惧される等の議論がなされました。

当局からは施設の設置条例があり、対応せざるを得ないことや、事務・運用については問題ないとの判断が示されました。

■議第48号 下田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

放課後児童クラブに関する設備・運営の基準を定めている条例のうち、放課後児童支援員の資格に関する改正で、従前の条例では、支援員は都道府県知事が行う研修を修了する義務がありました。今回、厚生労働省の基準省令の改正により平成31年度から指定都市の長も放課後児童支援員資格研修を実施できるとされたことに伴い関連する条例を改正するものです。

下田市における現状について

と今回の改正に伴う研修対応の変更の有無などの議論がなされ、当局からは下田市の支援員については従前どおり静岡県知事が実施する研修を受講する方針が示されました。

令和元年度下田市一般会計補正予算

*統合政策課

秘書総務事務 65万円

主なものは10月に予定している天皇陛下即位奉祝記念事業に係る予算で、下田市振興公社に事業を委託するものです。

■地域振興事業

345万9千円

加増野区の祭典資機材購入に対する自治総合センターコミュニティ補助金と、寄贈された旧町内の旧木村紙器の建物内に残された不要品処分委託が主なものです。

■移住・交流居住推進事業

530万円

主なものは平成28年に実施した空き家調査物件のうち、20件程度の家屋情報の取りまとめをNPO法人へ依頼する

ものです。

*総務課

電算処理総務事務

873万2千円

子育て支援法改正に伴う幼児教育無償化に対応するための電算システム改修費用が主なものです。

*防災安全課

防災対策総務事務

1218万5千円

主なものは土砂災害・洪水ハザードマップ作製業務費で1万4千部を作製し、全家庭への配布を予定しているものです。

*生涯学習課

芸術文化振興事業

210万2千円

蓮台寺にある吉田松陰寓居処土地所有者からの売却申し出に伴い測量、不動産鑑定を実施するものです。



産業厚生 常任委員会

委員長 進士為雄
副委員長 江田邦明
委員 中村 敦 佐々木清和
小泉孝敬 橋本智洋

条例関係

■議第44号 下田市森林環境整備促進基金条例の制定について

森林資源の適切な管理に要する経費の財源とするもので、その原資は国の森林環境税から配分される森林環境譲与税をもって充てるものです。その額は今後増加し、年2000万円（本年度試算額580万円）程度を想定しています。

■議第46号 下田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法施行令等の一部改正に伴い、下田市においても国保税を所得に応じて均等割及び平等割を一定の割合に軽減するよう改正するものです。

■議第47号 下田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

国の定める介護保険法関係の政令改正に伴い、下田市においても令和元年10月に予定されている消費税率引き上げに対して低所得者の保険料を軽減するため、減額賦課した保険料分を公費で賄おうとするものです。

■議第49号 下田市水道使用条例の一部を改正する条例の制定について

10月1日に予定されている消費税及び地方消費税の税率改正に伴い、水道事業で扱う料金等の改正をするものです。

令和元年度下田市 一般会計補正予算

*産業振興課

■森林環境整備促進基金

200万1千円
国から配分される森林環境譲与税の200万1千円を積み立てるものです。

■あずさ山の家管理運営事業

178万円
施設は本年度から閉鎖され

ていますが、その維持管理に必要な費用で、主なものは建物や屋外の清掃業務102万円のほか、法令に基づく建物等の定期点検等にかかる費用です。

森林整備促進基金については、整備促進の実施計画等、あずさ山の家は今後の利用についての議論がなされましたが、今後の検討課題として残りました。

*観光交流課

■世界一の家づくり事業

30万円
8月31日に外浦海岸で開催された全日本ジュニア・ユース・マスターズライフセービング選手権大会の運営に対する補助金です。

*建設課

■道路維持事業1750万円

国からの交付額の決定に伴い不足している修繕料に250万円を、道路構造物点検業務に1500万円を増額補正するものです。道路構造物点検業務については、トンネル及び橋梁の全てを5年サイクルで点検するものです。

*環境対策課

■ごみ収集事務

488万6千円
1号焼却炉故障に伴う市外への搬出に対するごみ処理手数料が448万5千円、可燃ごみ収集業務委託38万1千円は消費税増額分を補正するものです。

■焼却場管理事務

177万8千円
1号焼却炉故障により、7月8月は2号焼却炉を24時間運転とするため、時間外手当31万7千円、ごみクレーン運転管理業務委託49万6千円、ごみクレーン点検整備等の修繕費1250万円を増額補正するものです。

新議員 6月定例会を終えて



江田 邦明

6月定例会を終え、議員としての活動も約2ヶ月間がた

ちました。これまで実際に議員として活動してきた感想は、政界人にかぎらず多くの方とお会いする機会が非常に増えたということでありました。黒船祭などのイベント、萩市や沼田市などの姉妹都市交流、賀茂地区を中心とする議員交流、財界人を交えた勉強会などといった具合で、これまで156名の方々と名刺交換をいたしました。

議員になつてからは、市民の皆様から社会資本の整備や条例の改正、改善を希望する現地の確認等の要望も数多くいた、たくようになりました。議員一人の力で何ができるか、議員の皆様のおかげに各方面で活躍されております諸先輩の方々にもご教授をいただきながら、市政のしくみとその改善方法について勉強しているところでもあります。また、新人議員ながら産業厚生委員会副委員長、議会運営委員、議会、たより編集委員等の重責を仰せつかりましたので、若い者なりの行動力と継続力でのその職責を全うしていく所存であります。

6月定例会では、自分自身

の政策に基づき一般質問をさせていただきました。議会の役割であります「市政を監視・チェックする機能」、「政策を提言・立案する機能」、そして一番重要な「議会へ積極的な市民参加を図る機能」を向上させることにより、市民の皆様からの負託に応える協働型議会の実現を目指してまいります。特に、その数値的な目標といたしまして、次回の下田市議会議員選挙における投票率が今回の投票率61・18%を上回るよう、市民の皆様に対しまして、議会および議員活動の理解を深めてまいりたいと考えております。今議会で、は最年少議員となりますので、今まで直接かかわってきました観光や防災の分野の他、福祉や教育の分野にも積極的に取り組んでまいります。



● 中村 敦

私にとって初の定例会がこの6月でしたが、まさに議会制民主主義を体现することとなりました。

市の運営は全て「条例」という地方公共団体独自の「法」により行われ、条例の制定・改廃を議決する場が「議会」となります。多くは市長以下当局から提出される議案に対し、市民の代表である議員が議会で審議し議決（可否を決定）します。

一般質問では「リピーター獲得型の観光振興策」と「白浜地区の生活道路保全」の2点について、当局の方針を確認し、意見を述べました。静岡デステイネーションキャンペーン、東京オリンピック・パラリンピック等明るい話題が多い中で、リピーター獲得戦略を問うものです。関連して、県のアンケート結果もふまえてまどが浜海遊公園の有効利用を求めました。また民間事業への積極支援と白浜大浜の健全化についても当局の姿勢を正すよう求めました。

また市民の皆様の声を市政に反映させることは、市議会議員の大きな仕事であります。小さな声であってもその中に潜む大切な意見を見逃さず、粘り強く対話し納得していただくまで行動し続けて参ります。



● 鈴木 孝

また下田に住み続け下田を支えていただいた方、新しく移住してきた方、子どもたち、皆を大事にする議員を目指します。

6月定例会では、来たる消費税増税に伴う条例改正が主でした。生活に影響する部分では、増税分を還元すべく国民健康保険税の軽減と介護保険料の軽減が実施されます。また公民館やグラウンド等の施設利用料が改定（値上げ）され、ゴミ袋に含まれる手数料は一袋につき1〜2円上がります。市は消費税の課税対象事業者ではありませんが、掛かる燃料費や印刷費等の課税分を転嫁するもので、委員会審査でやむを得ないと認め議会で原案可決しました。

条例の一文を改正するにも同様の手続きが必要となるので、議会では儀式的・形式的なことも多いですが、そこそが民主主義であり決して疎かにしてはいけなさと再認識しました。

当局の答弁に対して再質問が出来ますが、慣れなせいであり曖昧な答弁に対して追求出来なかったことが反省点ですが、今後も関係部署と継続協議してまいります。

下田市議会議員1年生としての議員生活をスタートし、5月臨時会、6月定例会を終え市議会の流れが何となく見えてきました。

先輩議員の皆様には色々教えて頂き、議会事務局の方々のサポートを頂けたことが大きな力となりました。

市長をはじめ市職員が下田のために必死で仕事をしてる姿も印象に残りました。

少子高齢化の時代において人口減少に拍車がかかっている中で、活性化対策は本当に大変なことと感じます。

人口減少、産業の低迷、医療の問題、森林の整備や鳥獣被害、交通弱者等の問題は下田だけでなく日本の地方においても共通の問題であります。

どんな問題も必ず解決できると思っています。13人の議員が団結して、希望ある下田を作っていく決意であります。



● 渡邊 照志

6月19日から下田市議会定例会が開会され、8日間の会期を経て閉会しました。

5月臨時会と合わせて2回目の議会となりましたが、現場ではあらためて新鮮な気持ちと緊張感を持って議会に臨むことができました。

議会における議案審議の流れは、まず本会議で議案の説明を聞き・質疑を行います。更に審査が必要な議案について常任委員会で議案審査が行われます。

また本会議で議案の審議が行われます。

議員は、総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会にそれぞれ所属しており、所管の議案について審査をしています。

常任委員会から議案審査の報告が行われ、それに基づいて各議員は討論・表決を行い、最終的に議決されて議会の意思決定となります。

全てのことが初めての経験でわからないこともいろいろありますが「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」ということわざのとおり、何でも聞くようにしたいと思います。

これからも勉強することがたくさんありますが、より理解を深め、議員活動に活かしていきたいと思います。

一部事務組合の南豆衛生プラント組合議会議員としての仕事についてもこれからです。一つ一つ積み重ねを大事にし、一生懸命頑張る所存です。

また議員になつて多くの方々と知り合うことができましたが、様々な分野の方々と知り合えることは私にとってこれからの人生に大きな影響を与えてくれると感じております。

これからも出会いを大切に、市民の皆様のために頑張っていきたいと思えます。



● 矢田部 邦夫

下田市議会議員となつて2か月が経過しました。

6月定例会が終了し、振り返つてみますと、私の考えていたこととの違いに戸惑っているのが現状です。例えば今までは自分が考えたこと、感じたことは、取組み次第で何とか解決できることがあったのですが、決まりごとが多くあつて、なかなか前に進めることができませぬ。当初、資料の見方も理解できず、当局のスピードにもついていけず困惑していましたが、ようやく慣れてきたと感じております。理解するのはまだまだ時間がかかりそうです。これからも日々勉強し、前進していく所存です。

また自分が掲げた三つのテーマに取り組み始めたのですが、見事に弾かれてしまいました。小さいことにとらわれず大局

的な考えに立つて、この任期中に取り組むよう努めていこうと思えます。

私は下田市を良くするためには、広報活動をはじめ、沢山の手段があると思います。今年のおじさい祭は多くの観光客で賑わいました。入口からゴルフカートで開国広場までの坂を毎日50数名のボランティアの方々が交代で観光客を送迎し、大変喜ばれました。期間中1万5千988人のカート利用者があつたと報道されております。

また田牛の龍宮窟も今まで1日のバス運行が1・5便のところ、6月からは10時〜16時過ぎまで1時間に1便と大幅に増え、連日観光客で賑わっているようです。おじさい祭、龍宮窟とも一部の市民の皆様方の主導で始まり、テレビ報道等が入り大盛況だったと聞いています。

私は、今回は一時だけしか参加できませんでしたが、今後に向けて他の議員の皆さんと協力し、次回以降、積極的に参加するつもりであります。一部の市民の皆様方が渦を起こし、下田市に良い風が吹

き始めてきていると感じております。

この機会を逃すことなく、来年以降もおもてなしの心を

持つて観光客に接していくことが大切だと思います。

明日に向け動き始めた下田市を良くするために、次々と行動を起こすことが最も重要だと思えます。



● 佐々木 清和

6月の議会で初めての一般質問をさせていただきました。

新人議員でもあり少し議会の流れを確認してからの質問をと思つておりましたが、新人であるから間違いはあつて許されるのではと挑戦させていただきました。

市民から、下田市議会がどんなことをしているのか分かりにくいとの声を聞いていましたので、今回は白浜の無法地帯ともいえる現状について写真を掲示しながらの質問方式をとることとさせていただきました。

中継テレビを通して市民の

皆様にも浜地内の現状をより深刻に理解していただければとの発想でした。

市民の皆様からは、白浜は家族連れのお客様には評判が良くないとの印象をもたれていますが、実際にどのような状態なのか分かつていただけではないのではとの思いから質問させていただきました。

結果として市民の皆様からは「あそこまでひどいとは思つていなかった。」とのこと意見をいただき、質問をして良かったと感じております。

写真掲示の質問や、一般質問の通告にあつても議会事務局の職員の皆様には本当にお世話になり感謝しております。ありがとうございます。

これからも市民の皆様のように残る質問ができるよう、この質問を嚆矢（こうし）とし頑張つてまいります。



※7月時点での寄稿文です。



静岡県より派遣、加藤克寿、総合政策課参事に聞く

Q1 生年月日、出生地、最終学歴、職歴、趣味をお聞かせください。

A1 昭和44年7月24日生まれ49歳、富士市出身、静岡大を卒業後、平成4年4月に静岡県に採用され、総務部総務室、地域福祉室、人事課、長寿政策課等を経験しました。また平成13年度には、市町交流で富士川町(富士市に合併)に1年間勤務しました。

趣味は野球等のスポーツ観戦や御朱印集めです。

Q2 着任前、下田に関してどのようなイメージをお持ちでしたか。

A2 下田市は、今から20年

以上に、当時の伊豆農林事務所との配属となり、3年間過ごした場所です。農林事務所では林業を担当しており、汗まみれになって県営林を歩き回った思い出もあります。

下田市着任の辞令を受けた時には、県庁での勤務が長かったこともあり、正直なところ、新しい仕事・生活に対する不安もありました。実際に、下田を訪れると、伊豆縦貫自動車道が整備されて思いのほか近く、また、街並みも整備されて、過ごしやすくなった印象を受けました。心なしか持病の花粉症もおさまったような気がします。

Q3 着任後、3か月が過ぎましたが、現時点での下田市役所内、課内の雰囲気はいかがですか？

A3 いろいろとわからないことが多い中で、課の皆さんには、親切に教えてもらっています。課の抱える業務が広範囲に及ぶ中で、皆さんが個性を発揮して、仕事に対して前向きに取り組まれており、良い雰囲気と感じています。

また、職員の皆さんが一丸となって取り組む黒船祭に、微力ながら携わることができたのも、非常に有意義でした。

Q4 昨年度までの下田市の施策について、不足していると感じたものは何ですか？併せて特化していると感じたものはありますか？

A4 黒船祭のように県内外で知らない人がいない大きなイベントもある一方で、私が不勉強な点もあるかもしれませんが、市の施策・取組の発信力が十分でないという印象を受けていました。

また、私が担当していた高齢者福祉の分野では、住民による「互助」の強化が目指すところではありますが、人口減少や少子高齢化に向けて、住民同士の助け合い活動を推進する取組が必要であると思っています。

一方で、豊かな観光資源を活かしながら、市と民間企業、団体が連携して、観光振興やまちづくりを進めているところは、下田市の大きな特徴であり、今後も、これを最大限

に活かした施策展開が求められると思います。

Q5 県からの派遣ということで、市内からは県行政との連携を期待する声が聞かれます。県との協働事業はどのようなものがあるでしょうか？また、県との窓口として取り組んでいることはありますか？

A5 賀茂地域では、他の地域にない取組として、市町と県が連携して「賀茂地域広域連携会議」が設置され、地域特有の課題に市町が単独でなく地域で力を合わせて、より良い行政サービスの提供を図るための取組が進められています。

私に求められていることは、一言で言えば、下田市と県の連携の橋渡し役であると思います。これまでに培った知識、経験、ネットワークを活かして、市の行政運営に対して意見し、汗をかくことが求められています。

職員の皆さんには、県との調整を必要とする案件等で、私を活用してもらいたいですし、自らも積極的に関係機関

等を訪れることで連携を密にし、市と県の橋渡し役になれるように努めていきます。



Q6 着任後、初めて取り組んだ仕事は何ですか？また、今後の展開や可能性をお聞かせください。

A6 私が担当する業務は、主には、みなとまちゾーンの活性化と、大学との連携による中心市街地の活性化です。着任後は、これらの事業の動き出しのための、関係者との調整等に取り組まれました。みなとまちゾーンについて



は、昨年度、その基本理念と整備の方向性を示す『グランドデザイン』が策定されました。今後は、ランドデザインに基づき、「みなとまちゾーン活性化協議会」を通じて、関係の皆様の意見を伺いながら、事業の方向性を整理し、具体的な事業の実践に移行していく計画です。

また、中心市街地の活性化については、静岡文化芸術大学にお願いして、学生の視点も生かしながら、「散歩したくなる商店街」をコンセプトに、昨年度は現地調査を行い、今年度は基本デザインの作成を行います。

下田の玄関口として、港や街並みが少しでも活気づくよう取り組んでいきたいと考えています。

Q7 今後の下田市の展開、展望について、取り組んでいきたい内容等お聞かせください。

A7 国立社会保障・人口問題研究所の報告では、下田市は、2025年には人口1万8千554人、高齢化率44.8%、2040年には人口1万2千495人、高齢化率54.0%と推計されており、市が一体となって、人口減少と少子高齢化に取り組み、将来にわたって活力ある下田市を維持していく必要があります。

折しも、下田市は令和3年1月に市制50年という区切りの時期を迎え、さらに、今年度は「下田まち・ひと・しごと創生総合戦略」、今年度から来年度にかけて「第5次下田市総合計画」を策定します。今後の行政運営の方向付けを行う重要な時期に、こうした業務に携わることができ、ことを非常に意義深く感じ

ています。

「下田市に住んでよかった。」
「下田市を訪れてよかった。」
と
思っていたような施策の実現に向けて、微力ではありますが貢献できるように全力を尽くしていきたいと思っています。

人事案件

◎人権擁護委員の推薦

人権擁護委員の任期満了に伴い、佐々木一宏氏（白浜）、河井恵美子氏（吉佐美）、矢田部泰子氏（河内）を推薦することについて、適任と判断

6月定例会一般質問

状と今後について

沢登英信（日本共産党）

- (1) 海水浴場の整備及び運営について
- (2) 地域の交通機関の確保について

中村 敦（令和会）

- (1) リピーター獲得型の観光振興策について
- (2) 白浜地区の生活道路保全について

滝内久生（自民クラブ）

- (1) 伊豆縦貫自動車道整備促進の体制づくりについて
- (2) 新庁舎建設事業の進捗について
- (3) 観光施設の維持・管理について

佐々木清和（再興の会）

- (1) 白浜海水浴場の違法営業について
- (2) 下田地区の鳥獣被害と対策について

鈴木 孝（公明）

- (1) 下田市の災害時の避難路及び備蓄品等について
- (2) 放課後児童クラブの現状

江田邦明（松陰会）

- (1) 消防団への軽四輪駆動消防車の配備について
- (2) 公共施設屋根貸し事業の検証について

しました。

◎監査委員の選任

前監査委員の任期満了に伴い、議員のうちから選任される委員に、蓮台寺在任の大川敏雄氏を選任することについて同意しました。

表彰

全国市議会議長会表彰

6月11日に全国市議会議長会定期総会が東京都で開催され、大川敏雄議員が議員勤続40年以上の特別表彰、増田清前議員が議員勤続20年以上の特別表彰、竹内清二前議長が正副議長4年以上の一般表彰を受賞しました。



議会を傍聴しましょう
市議会へのご意見・要望をお寄せ下さい

令和元年 6 月定例会審議結果

番号	令和元年 6 月定例会議案件名	審議結果
報第 6 号	平成30年度下田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	議決不要
諮第 1 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
諮第 2 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
諮第 3 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
議第43号	監査委員の選任について	同意
議第44号	下田市森林環境整備促進基金条例の制定について	原案可決
議第45号	消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議第46号	下田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第47号	下田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第48号	下田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第49号	下田市水道使用条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第50号	平成30年度下田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議第51号	令和元年度下田市一般会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議第52号	令和元年度下田市下田駅前広場整備事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議第53号	令和元年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議第54号	令和元年度下田市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議第55号	令和元年度下田市水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議第56号	令和元年度下田市下水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決
	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙	
	常任委員会の閉会中の継続調査について	

《賛否の分かれた議案》

(○：賛成 ×：反対 -：欠席)

番号	6 月定例会議案件名	江田邦明	中村敦	鈴木孝	渡邊照志	矢田部邦夫	佐々木清和	滝内久生	小泉孝敬	進士濱美	橋本智洋	進士為雄	大川敏雄	沢登英信	審議結果
議第45号	消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議第51号	令和元年度下田市一般会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決

※議長（小泉孝敬）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

編集委員会

◇委員長 滝内久生
 ◇副委員長 進士為雄
 ◇委員 渡邊照志
 ◇委員 江田邦明
 ◇委員 橋本智洋

いよいよ来年の夏、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。下田市も聖火リレーのルートに選ばれ、市民の皆様も日に日に気持ちが高まっていくことと思います。

今、下田市からオリンピック出場に近い選手の一人が、ビーチバレーボール選手の土屋宝士さんです。須崎の出身で、7月25日付けの日本ランキングで第9位になっています。これからオリンピックに向けて、下田市を熱くすることに間違いありません。皆様も土屋宝士さんにご注目いただき、是非とも応援ください。

（江）

